1　管内の概要

本組合は福岡県の中西部で糟屋郡の中南部に位置する。

区域は、南北に約 20km、東西に約 15km で、北東から東にかけては犬鳴峠と八木山峠との稜線を結び、南東は若杉山に連なる三郡の山々が延びており、南側には四王寺山脈がそびえている。これらを境に、北東から南東及び南側は宮若市、飯塚市、筑紫野市、太宰府市、大野城市と接し北側は古賀市、新宮町と西側は一部の丘陵地を除きほぼ平坦な地形のまま福岡市博多区、東区とそれぞれ隣接している。

管内の中央を国道 201 号線が東西に横断し、西寄りには九州自動車道が南北に亘って約 12km 縦断している。又、管内の北側には山陽新幹線が北東から南西にかけて横切っている。当組合は、福岡都心から半径僅か 10km の範囲内にあって、しかも福岡空港から約 5km、さらに福岡県庁から約 8km という距離のため、福岡都市圏として今後益々の発展が予想される。

中南部地域は 70 数年に亘り操業してきた国鉄志免鉱業所（旧海軍炭坑）や小炭坑の開坑により、鉱業や商工業の町として隆盛を極めたが、昭和 39 年志免鉱業所の閉山によってその隆盛にも終止符が打たれた。

その後産炭地振興による工業団地の開発、中小企業、大型店舗の進出及び福岡市の東部に隣接する好立地条件から、都市圏のベットタウンとして大型団地造成がなされ人口が急増して今や福岡都市圏として重要な地域をしめている。

また、南部には史跡と自然に包まれた「四王寺県民の森」や国の天然記念物大楠が社前にそびえ立つ安産の神様、宇美八幡宮があり、須恵町の高鳥居城跡、木造十一面観音立像、須恵焼窯跡などと共に歴史に名高い。

さらに管内のほぼ中心にそびえる若杉山、岳城山の山麓から北方にかけては、城戸の真言宗南蔵院を中心に篠栗新四国八十八カ所があって「お遍路」の名として親しく、犬鳴連山のふもとに位置した北端の久山町は、伊野皇大神宮や猪野公園を背に、連山の谷間をぬった清流と豊富な森林資源を生かした健康町づくりが、ユニークな町行政として注目をあつめている。

このように管内は美しい緑と自然に囲まれた福岡都市圏の住宅や産業・経済の町として「住みよい町づくり」を目指して大きくはばたいている。

2　管内面積

町別	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	計
面積	8.69 ㎢	30.21 ㎢	16.31 ㎢	14.13 ㎢	38.93 ㎢	37.44 ㎢	145.71 ㎢